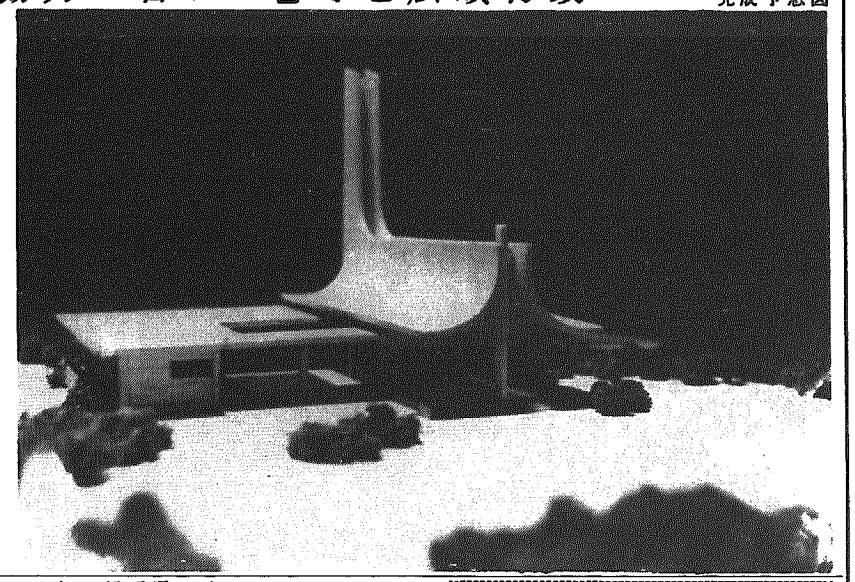
ひんぱんに利用されては困りもの

—火葬場新築工事—
協力し合って巻町と広域行政

完成予想図



地方公共団体の財政難のときに、私達の村独自の事業をやるには限度があります。しかし近所の人達（隣接町村）が数人で力を合せてやればできます。

巻町、岩室村葬祭組合をつくり、共同で火葬場を新設して、各部落に散在する不衛生で、環境上好ましくない野天の火葬場を廃止しようというもの。この建物は、和納川原の巻町の境界近くの二千六百平方米の土地に鉄筋コンクリート平屋建二六六平方米。祭場、待合ロビー、収骨室のある明るい建物、しかし荘厳さも、そなえている立っぱな建造施設。せいぜい御利用とPRしたいけれども、そんなにひんぱんに利用されては困ります。完成は11月中旬。

交通災害共済組合が発足

いつから、九月一日（十五市九十ケ町村共同で）

申込みは、八月中に区長さんを通じて（任意加入で一年ごと）

掛金は、一人年三六〇円
中学生以下三〇〇円
（申込みをするとき納入）

事故にあったときの見舞金は、死亡したとき五十万円、全治六ケ月以上のけが、十万円、三ケ月以上のけが、五万円一ケ月以上のけが二万円一週間以上、五千円

くわしいことはきまり次第おしらせいたします。家族みんなが加入しましょう。

打ち出す 積極的道路行政
最新機械購入検討中

雨の日小学生が登校の時自動車にドロをはねられ泣いていました。……せめて通学道路だけでも補修して下さい。—（一児童の母親）

部落懇談会の要望より）

昭和四十年村政執行の重点政策、産業基盤整備として道路行政に打ち込んできました。しかし車輌の増加（現在岩室村一、六一〇台原付自も含む）により、道路は人が通るだけではもはや存在価値はなく、自動車の交通に支障のない幅員ゆるやかなカーブ、堅固な路肩……そして交通量の増により、損償度も大きくいままでブルドーザ、ハンドグレーダー、人海作戦で補修をやってきたが、現在それらの対策では追いつかず、このため新兵器?、ロードグレーダーの購入を計画し皆さんの要望に早急に応えるべく、すでに村道の各所に試運転中です。この機械の作業能力等を検討し購入したい考えです。この機械は幅員のせまい村道にも入ることができ、一日二〇〇〇m位の補修能力を持ち用具の付け変えで除雪作業ローラー作業等の各種に可能な万能選手です。これらの機械が村道延長一三七、九kmをくまなく力づよいエンジンの響きをとどろかす日も近いでしょう。

試運転中のロードグレーダー

県警察官募集について

一、申込受付
S43年6月10日～43年9月7日
一、受験資格
学歴　高校卒程度
年令　S18年4月2日～S25年4月1日までに出生男子（来年卒業見込みのものにあってはS26年4月1日までに生まれたもの）
一、試験
第一次　昭和43年9月15日
一、筆記試験
一、身体検査
第二次　昭和43年10月下旬　口述試験
詳細照会は巻警察署又は岩室、和納駐在所

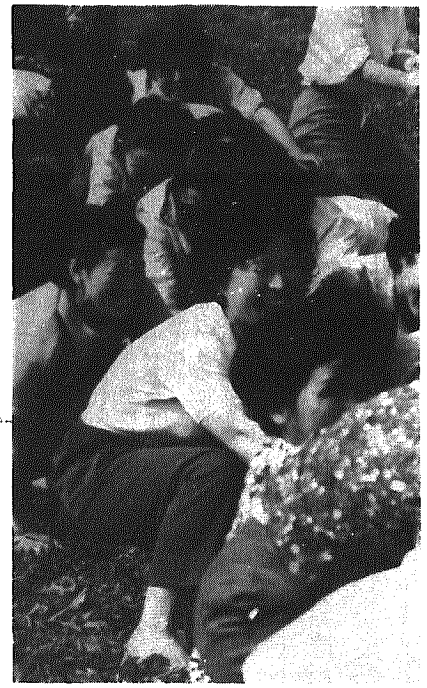
—タバコは村内で買いましょう—

タバコ消費税は年間800万を算え村の財政を豊かにし学校、保育所橋ができます。

融和と前進を期し村民運動会

チーム・カラーも鮮かに
ブロック編成なる

大会8月18日　岩中グランド



昔なつかしい「ゲートル巻」競走も

スポーツ、レクリエーションに対する愛好心を高めると、共に、村民全般の融和をはかり「明るく豊かな村づくり」の力強い前進に寄与しようと、大会事務局はテンテコ舞い、事務局、実行委員会、大会役員、ブロックの推進の組織もなされ、去る6月25日、実行委員会が開らかれ、実施方針が検討された。大会期日、8月18日、岩中グランドに決定、全村民総参加を基調として種目もやっておもしろく、見てわかりやすく多分に、運のよさによって、爆笑と歓声裡に勝敗が決するような種目が取り入れられている。昔なつかしい「ゲートルまき競走」一家総出の「親子三代リレー競走」自転車の遅乗り「安全運転」と楽しい種目でいっぱいです。祭典の花形、三味と太鼓に合せて、全員で岩室甚句の踊の輪が、幾重にも広がる。さあ輪になろう、みんなで手をつなぎ。

ブロック標旗色と代表者

1 水色　間瀬（篠原治蔵）
2 赤　金池、石瀬、久保田、猿ケ瀬（高橋英一）
3 黄　岩室、樋曽、栄、橋本（渡辺俊一）
4 紫　南谷内、北野夏井（山上勇雄）
5 エンジ　西中、潟上、白鳥、西長島横曽根（斎藤定雄）
6 みどり　西船越、新谷油島、高畑（松本誠一）
7 紺　原、津雲田、和納1区、2区、9区（宮野源一郎）
8 オレンジ　富岡、和納3区、7区、8区（本田久平）
9 竹色　高橋、和納4区、5区、6区（池上友一）

。間瀬臨時バス運行。

（写真　和小運動会　綱引レース　大滝先生撮影）

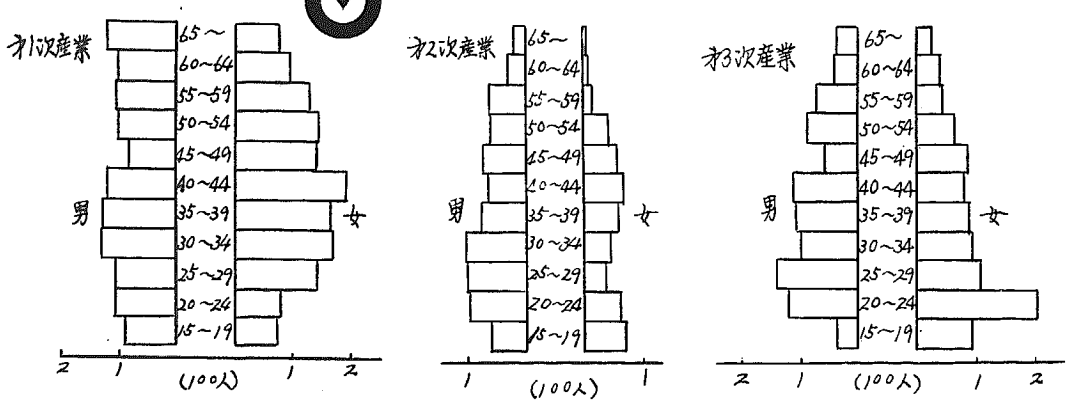
老人も参加できる種目を

阿部吉宏（間瀬三区72才）

合併前の間瀬、岩室、和納の地域感を若い層の人達は感じていないように思われるが、私達としよりはまだこれらの古いカラから抜けきらない。それらが、村の発展をこばんでいる場合もありうる。若い村長が、村民運動会を計画したことに大いに拍手を送りたい。村民が一つ輪になって、一つの行事をやることは、発展岩室の原動力となると信じていいだろう。大会種目は我々老人も参加できる種目を期待している。童心に返って、若者と共に走り共にとび、若い考えを理解したい。新しいパンツを買って是非参加したい。

会場グランドの整地は急ピッチに進む

運動会の会場は中学グランドに予定されているがいまこのグランドの整地が大会期日までまにあうようにと急ピッチに進められている。

公共施設は大切に使用しましょう

目でみる村勢